

# 上級行政事務（行政）の「特別枠」と「一般」



## 1. 上級行政事務の募集区分

上級行政事務は、職務の内容の違いなどから、行政・福祉・心理に分かれています。  
さらに行政は、2019年度(平成31年度)採用試験から、「一般」と「特別枠」の2つを設置しています。

## 2. 上級行政事務（行政）の「特別枠」とは

- ① さらなる多様な人材の採用を目的に、就職活動におけるニーズなどを取り込み、民間企業併願者や様々な学部の人など、多くの人が受験しやすいように新設した区分です。
- ② 従来の区分である「一般」との違いは試験日程と試験方法です。  
(採用後の配属先、給料等の勤務条件などは「一般」と「特別枠」の違いはありません。)

## 3. 「特別枠」の試験日程・試験方法

	特別枠	一般
受験申込 受付期間	【電子申請】 3/2(月)～16(月) ※電子申請のみ	【電子申請】 5/1(金)～19(火) 【郵送申込】 5/1(金)～21(木)
第1次試験日	4/1(水)～16(木)の間で 受験者自身が選択した日	6/28(日)
第1次試験会場	受験者自身が選択した会場 (SPIテストセンター)	福岡会場・東京会場
最終合格発表	6月中旬(予定)	8月下旬～9月中旬(予定)
試験の内容	【1次試験】 教養試験 (SPI) 口頭試問 (自主的アピールを含む。) ※口頭試問受験該当者は教養試験の結果 で決定します。  【2次試験】 論文 (課題解決シート作成) 口頭試問 (課題解決シートの 説明を含む。)	※従来の内容で実施  【1次試験】 教養試験 専門試験 口頭試問 ※口頭試問受験該当者は、教養試験と専 門試験の結果で決定します。  【2次試験】 論文 口頭試問

※「特別枠」と「一般」の併願はできません。「一般」の試験実施に関するお知らせは、4月中旬頃に福岡市職員募集ホームページで公表予定です。

※「特別枠」は、申込日現在で福岡市職員(任期の定めのない正職員)である人は受験できません。

### ★「特別枠」試験内容のポイント

- ① 第1次試験の筆記試験は、教養試験のみ。民間企業等でも採用されている「SPI」を実施。
- ② 第1次試験口頭試問受験該当者の方には、事前に「面接票」と「アピールシート」を提出していただき、口頭試問で自主的アピールを実施。
- ③ 第2次試験の論文では、課題解決シートを作成。課題解決シートは第2次試験の口頭試問で説明していただきます。